

## さいたま市リーディングエッジ企業33社のご紹介

さいたま市 経済局商工観光部 産業展開推進課

さいたま市内には、独創性や革新性に優れた技術を持つ研究開発型ものづくり企業が集まっており、「さいたま市リーディングエッジ企業」として認証されています。

いずれの認証企業も、光学技術、自動車・航空機部品、情報通信機器、医療機器などの幅広い分野で世界トップクラスの技術力や市場性を有しており、さいたま市のものづくりを牽引しています。

<p>ASAHI RUBBER INC. 調色・シリコン・分子接着接合</p>	<p>アトムメディカル株式会社 保育器、分娩台、検診台等の周産期医療機器及び、酸素マスク等の医療消耗品の開発・製造・販売</p>	<p>Arai Racing Specialities F1 などの4輪およびバイク用ヘルメット</p>	<p>アンテナ技研株式会社 アンテナ・高周波フィルタのオーダーメイド</p>
<p>ASAP as soon as possible 5G通信およびADAS用半導体生産に適応したリフトオフ装置</p>	<p>株式会社 オリジン 電源機器、システム機器、精密機構部品、半導体デバイス、合成樹脂塗料</p>	<p>KANEKO 医療機器の精密微細加工及び組立、航空機エンジン部品</p>	<p>KIMOTO ウエットコーティング、サンドブラスト、空間計測・3Dデータ加工、コンサルティング</p>
<p>COSMO RESEARCH 無線通信機器、高速信号処理機器、ミリ波とRFSoC</p>	<p>Gotos 超精密金属プレス加工</p>	<p>SCIENCE サイエンス株式会社 排熱回収型ヒートポンプ、浴槽循環ろ過装置の製造技術</p>	<p>埼玉機器株式会社 Saitama Kiki Co., Ltd. 球面軸受け技術、防振ゴム技術、摩擦圧接技術、油圧技術を生かした機能製品の開発～生産～販売</p>
<p>Saiden Chemical アクリル樹脂、粘着剤、塗料用樹脂、コーティング剤</p>	<p>SUMICA new glass &amp; fiber optics 自由に自在にしなやかに 光学ガラスから光デバイス製品まで</p>	<p>ソフトロニクス株式会社 超小型エンコーダ内蔵 新・位置決めサーボモータ</p>	<p>stakata 飲みやすさ、使いやすさに配慮した付加価値剤の開発・製造</p>
<p>TAMRON Focus on the Future 独自の先端光学技術により、様々な事業分野において革新的な製品を展開</p>	<p>株式会社 テクノスコープ 組込電子機器開発技術、コンピュータソフトウェア設計技術</p>	<p>Tokyo Titanium チタン溶接・機械加工技術及び設計・開発～加工・製品</p>	<p>仁科工業株式会社 Nishina Industrial Co., Ltd. 超大型製品への無電解ニッケルめっき技術</p>
<p>株式会社 日新化成 Nissin Kasei Co., LTD. 超精密プラスチック成形技術</p>	<p>NITOKU Design the Next 巻線技術・テンション制御技術・搬送技術・精密FAソリューション</p>	<p>日本ピストンリング株式会社 NIPPON PISTON RING CO., LTD. トライボロジー技術、材料・表面処理技術、評価技術</p>	<p>日本電鍍工業株式会社 NIHON DENTO KOUGYO CO., LTD. 高品質のアルマイト・めっき・各種表面処理</p>
<p>HARVES HARVES Co., Ltd. 精密機械用潤滑剤</p>	<p>HASEGAWA 超小型工作機械の製造</p>	<p>FORVIA faurecia 車載用機器製造技術</p>	<p>FUJIKURA COMPOSITES 複合化技術で豊かなくらしをささえる</p>
<p>Bellnix® 非接触給電、高効率LLC回路、直流給電システム</p>	<p>porite Powder Metallurgy Specialist 焼結含油軸受、焼結機械部品、MIM製品、燃料電池セパレーター</p>	<p>YAMADA MACHINE TOOL CO., LTD. 製品の真質性・真正性とトレサビリティを保证する、Dxマーケティングシステム</p>	<p>Regina Regina Fashion Supply Co., Ltd. 人工皮膚 バイオスキン</p>
<p>株式会社 渡辺製作所 通信用コネクタ、ファイバセンシングシステム</p>	<p>さいたま市 経済局商工観光部 産業展開推進課 埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-4 TEL:048-829-1371 <a href="https://www.city.saitama.jp">https://www.city.saitama.jp</a></p>		

## 後藤精工株式会社 (2008年度認証)

### “超精密”に挑戦し続ける、 ミクロン精度のプレス加工メーカー

#### 事業内容・会社PR

1962年12月に設立し、信号機向け部品のプレス加工を手掛けていた当社は、その後の時代の変化にともない電子部品分野に進出。現在では、自動車のエアバッグ関連部品やカーエレクトロニクス関連のほか、家電製品、パソコン、スマートフォンなどに搭載される電子部品、半導体レーザーなどの製造・販売を主力としています。

主要製品である水晶振動子関連では、世界シェア60%を占める製品を有するなど高精度なミクロン(1,000分の1mm)単位のオーダーにも対応し、国内外を問わず多くの得意先から高い信頼を得ています。2020年には経済産業省「地域未来牽引企業」にも選定。2022年11月期売上高は45億円。



#### 当社の強み

プレス加工時に使用する金型の製作のほか、メッキ加工も内製化しており、通常は複数社にまたがる生産工程を一貫生産体制を構築しています。これにより量産性を考慮した金型製作や、品質改善への素早い対応、短納期の実現など、トータルで品質を高めることができ、これが当社最大の強みとなっています。

また、コイニング(潰し)加工と言われる、極めて高い精度を要求される複雑な形状の加工では、国内初となる連続コイニング技術を実用化したほか、3次元立体化成形技術などの独自ノウハウを活用し、一般には加工が難しい素材であっても、柔軟に対応できる高い技術力を誇っています。



#### 注目ポイント

今後大きく成長が期待される市場として、電気自動車(EV)分野の事業に注力しており、現在はIATF(International Automotive Task Force)によって制定された、自動車産業向け品質マネジメントシステムである国際規格の2024年度中の取得に向け、準備に取り組んでいます。

また、2020年からは各職場にタブレット端末を導入し、改善提案や不良報告などを画像や動画とともに社内で即時共有できる仕組みを構築。デジタル化やDXのほか、人との共同作業を前提とした「協働ロボット」の導入による省力化や自動化に積極的に取り組み、高品質な製品を安心・安全・安定して製造できる体制の整備に努めています。



#### 代表メッセージ

設立以来60年以上の間、社是である「不可能への挑戦」の精神で、お客様の不可能を可能にするお手伝いに邁進してきました。技術開発型企業として高品質・高信頼性の製品づくりに取り組み、お取引先の皆さまから厚い信頼をいただいておりますことは光栄の極みです。今後も、社会の役に立つオンライン企業を目指し、社員一丸となって、より付加価値の高い技術者集団として歩んでいこうと考えております。



#### 会社概要

代表者：後藤秀隆  
設立：1962年12月  
資本金：5,000万円  
本社：さいたま市中央区上峰3-11-1  
国内拠点：福島プロダクトセンター(福島県鏡石町)  
海外拠点：中国(上海市)、マレーシア(マラッカ州)、ベトナム(フンイエン市)  
従業員数：123名(2023年3月末日現在)  
事業内容：自動車関連部品・携帯電話部品など製造  
<http://www.gotos.co.jp/>

さいたま市リーディングエッジ企業紹介 ②

## 藤倉コンポジット株式会社 (2021年度認証)

### 創業120年以上の歴史で培った「複合化技術」を武器に 幅広いフィールドで事業を展開

#### 事業内容・会社 PR

1901年10月に創業した当社は、ゴムと布を貼り合わせたゴム引防水布の日本初のメーカーとしてスタートしました。当初は軍需産業を中心に技術力を発揮し、その後120年を超える歴史の中で、異素材同士を掛け合わせる「複合化技術」を軸に、自動車部品、住宅設備機器、医療機器、スポーツ用品などさまざまな産業の発展に寄与してきました。2019年4月には、「藤倉ゴム工業」から「藤倉コンポジット」へと社名を変更し、ゴムだけにとらわれない製品の開発・提供を積極的に進めています。

2023年3月期売上高は247億8,600万円(連結406億8,700万円)。東証プライム市場上場。



#### 当社の強み

創業以来長きにわたり培ってきたゴム引布の製造経験に基づく高度なゴム配合技術を活かし、布・合成樹脂・金属などの異素材と組み合わせる複合化の技術が最大の強みであり、産業用資材からゴルフ用カーボンシャフトに至るまで、さまざまな製品にこれらの技術が用いられています。

2022年には、医薬品製造における重要なシングルユース部素材での高い海外依存率を改善するため、優れた技術を持つ国内企業5社でパートナーシップ「J-STAC」を形成しました。今後大きな成長が期待される医療・医薬分野において、ワクチン・バイオ医薬・再生医療などの製品の開発にも注力しています。



#### 注目ポイント

研究開発の強化に向け、2011年1月に岩槻工場内にエンジニアリングセンターを開設しており、2013年には独自技術による「マグネシウム空気電池」の研究開発に着手しました。福島県南相馬市の自社工場が東日本大震災で被災した経験から、2016年には非常用マグネシウム空気電池として販売を開始しました。さらに2022年からは、この発電原理を応用した電源不要の液体検知センサの開発に取り組み、河川の洪水や建物内の漏水、医療・介護現場での漏血・排尿など、液体を検知する各種製品の開発を進めています。



#### ■代表メッセージ

当社は120年という長い月日を経て、さらに未来へ羽ばたこうとしております。今後も、既存のゴム製品にとらわれず、新市場に製品を送り込み、広がりをもった未来を創造していこうと考えています。当社の経営理念である「技術・創造・いきいきコミュニケーションを大切に、人々の安心を支え社会の豊かさに貢献いたします」をもとに、世の中の人々により一層受け入れられる製品を供給し続けてまいります。



#### 会社概要

代表者：森田健司  
 創業：1901年10月  
 資本金：38億429万円  
 本社：東京都江東区有明3-5-7 TOC有明イーストタワー10F  
 国内拠点：大阪支店（大阪市北区）、岩槻工場（さいたま市岩槻区）、加須工場（埼玉県加須市）、原町工場（福島県南相馬市）など  
 海外拠点：米国（オハイオ州）、中国（浙江省杭州市）など  
 従業員数：757名（2023年3月末日現在）  
 事業内容：工業用ゴム部品、電気・電子機器、救難救命具等産業資材、ゴルフ用シャフトなどの製造販売  
<https://www.fujikuracomposites.jp/>